

会 議 録

会議名	平成15年度第2回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成15年10月28日(火)午後2時00分から4時00分
開催場所	宇都宮市役所本庁舎 14A会議室
出席者	【委員】今井恭男,阿久津均,金沢力,金子和義,篠崎光男,赤塚朋子,中尾久,神宮由美子,廣田宏子,湯澤博,角田博之,児玉博利,増子三男,熊本範夫,手塚修,岡田季代子,安場博 【事務局】森宇都宮市環境部長,他17名
公開・非公開	公開
傍聴者数	なし
議題	(1)報告事項 ア.政策広報に対する市民の意見について (2)審議事項 ア.ごみ処理基本計画の改定における減量化施策とその効果について イ.ごみ処理基本計画の改定素案について ウ.一般廃棄物処理手数料の現状と見直しの考え方について (3)その他
会議結果	議題(2) ア.イ 審議会で出された意見等をふまえ,「宇都宮市ごみ処理基本計画」の改定案をとりまとめ,次回に示していく。 ウ. 審議会で出された意見等をふまえ,市としての方針を示していく。

発言要旨【議題(1)関係】	
安場委員 (質問)	・ 最も多かった「分別の徹底」という意見に対して,どういう対応をしていくのか。
田中課長 (回答)	・ パンフレットが分かりにくいという意見がある。 ・ 来年度,パンフレットのリニューアルや,外国人向けのものの作成などを考えていきたい。
安場委員 (質問)	・ ルールがなかなか徹底されない。パンフを配るということもあるが,どう徹底を図っていくか,なかなか答えはないと思うが,作って終わりということにならないようにしてほしい。
田中課長 (回答)	・ その件に関しては,後ほど,新規の事業ということで詳しく説明したい。
中尾委員 (意見)	・ 集合住宅居住者への徹底にも配慮してほしい。
田中課長 (回答)	・ 自治会未加入者は抜け落ちてしまう。従来からもやってくるが,管理人や大家,その他について周知を図っていきたい。
発言要旨【議題(2)ア.イ関係】	
児玉委員 (質問)	・ 15年度末の時点で,2%増でおさまるのか。 ・ 処理限界を超えると新たな工場を作らなくてはならないのか。 ・ 有料化にするのに,不平等感をどのように把握していくのか。
津田主幹 (回答)	・ 9月末で,前年比100.1%。このまま推移すれば,2%以内の伸びでおさまる見込みである。 ・ 定期点検,補修等を要する日数を考慮すると,年間の稼働率は80%が限界であり,安定した処理稼働率は75%である。

岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14年度に有料化の基礎調査を実施した。 ・ 一人あたりの排出量をデータから算出し、減量努力をしている人、していない人を平均的な量で把握し、5割くらいの差があった。 ・ 基礎調査に基づいて、不平等感の把握は出来たと考えている。 ・ 現段階では、研究を進めていく状態である。
神宮委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂原ができた後、長岡の処分場の現状はどうなっているのか。
津田主幹 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ まもなく埋立てが終了する。板戸の処分場が完成するまで、積み上げをしてもたせていく。
神宮委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材質が多様であり、市民は分別の仕方が複雑で困っている。 ・ 市民は、企業への働きかけは出来ない。行政が企業へ働きかけることはできないのか。 ・ 自治会未加入者がルールを守れないのをどうするのか。未加入者に対しても、自治会を動かすことを考えてほしい。 ・ 市民をもっとほめてほしい。ふたはずしの終息宣言をしたが、どこまで周知されているのか。やる時だけ一生懸命ではなく、その後もしっかりとやってほしい。
岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業への働きかけについて、容器リサイクル法で、リサイクル費用は企業が負担、収集・中間処理については、自治体が負担することになっている。拡大生産者責任については、県・国に対して、全国都市清掃会議・市長会議などを通じて、要望活動をしている。 ・ 未加入者に対しては、地域のリサイクル推進員・推進チームを通して、ふたはずしなどの協力をお願いしている。推進員には、集合住宅へのチラシ配布、不動産業者・管理人にも、個別にお願いしてきた。今後も、フルに推進員を活用していきたい。 ・ 8月に、リサイクル推進員情報紙を発行し、その中で、ふたはずしの終息等についてお知らせした。11月号にも盛り込みながら、状況をお知らせしていきたい。
今井議長 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未加入者の問題は、連合会でも頭を抱えている。推進員を活用するなどして、積極的に取り組んでいっていただきたい。
篠崎委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共の場からは、ごみは出さないという考えでいかないとだめだ。 ・ モデル地区を設けて、減量化をやったらどうか。有料化をする前に、やることはあるだろう。 ・ 収集も、業者に委託したりすればいいのでは。
森部長 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化に、直ちに踏み込むものではない。分別の徹底や新しい施策を十分にやったうえで、必要な時期に導入する。 ・ モデル地区については、今後研究していく。 ・ 委託については、アウトソーシングを進めていく方向で考えていきたい。
岡田委員 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ごみになるものは何なのか」という根本を考えて、ごみになるものは作らないという方向にできないのか。市民にもっと周知をするべき。
岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハートクラブ制度というものがあり、売る段階から減らすということでスタートしたが、今までPRがなかなかできなかった。 ・ 制度を見直し、市民にお知らせしていけないかと検討中。手直し作業を進行中である。
岡田委員 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ早く実行してほしい。
湯澤委員 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加入促進の努力をしているが、集合住宅の住人と接触できなくて困っている。行政措置を取れないか考えてほしい。

森部長 (回答)	・ プライバシーの問題など、市民生活部と相談して積極的にやっていきたい。
安場委員 (質問)	・ 焼却ごみが最大の課題なのか。これを何とかすればいいのか、それとも他にもあるのか。
岡本統括 (回答)	・ 焼却以外のごみは、約2万tであり、9割が焼却ごみ。その中に、資源化できるものがたくさん混入している。これをターゲットにすれば、ある程度の減量ができると見込んでいる。
安場委員 (質問)	・ ごみ処理基本計画35ページの個別収集の検討状況はどうなっているのか。
岡本統括 (回答)	・ 基礎調査で、有料化と抱き合せでやっている自治体が多いという傾向が見られた。住宅が隣接していないと効率的でなく、離れている場合には、費用ばかりかかってしまうので、郊外では難しいのかなと思っている。
安場委員 (質問)	・ 有料化と抱き合せでないと、個別収集はできないという理解でよいのか。
岡本統括 (回答)	・ 有料化をできれば先延ばししていきたいので、検討を進める中で、個別収集、新分別の方法など、あらゆる可能性を調べていきたい。
赤塚委員 (質問)	・ 別紙2の5、事業系の引下げは、本来今年度実施のはずだが、なぜ17年度実施になるのか理由がわからない。
岡本統括 (回答)	・ 別紙の13、民間主導による事業系生ごみ資源化事業に合わせて実施する予定であった。 ・ 事業から排出される生ごみを、民間の資源化施設に流していきたいと考えていたが、当初見込みの事業者が頓挫してしまった。現在、新たな意向企業が、17年度の稼働を目指している。
赤塚委員 (質問)	・ 別紙2の11、分別強化推進事業というのは、具体的にどんなことをしていくのか。
岡本統括 (回答)	・ 13年に実施した組成分析調査で、資源化可能な紙が、焼却ごみに13%も含まれているため、これを減らしていきたい。 ・ リサイクル推進員を中心に、自治会をいくつかに分けて、説明会等を開催していきたい。 ・ パンフレットについても、どういう方法で作っていくのか、今後検討していく。
赤塚委員 (質問)	・ オフィス古紙について、シュレッダーはどれくらいの大きさであれば資源化可能なのか。
阿部総括 (回答)	・ 収集・処理の問題はあるようだが、リサイクルはできるような話は聞いている。 ・ 現在勉強しているところで、商工会議所にも働きかけをしている。
赤塚委員 (質問)	・ 自治会とごみ出しの関係はどうなっているのか。 ・ 東京では、自治会に入らないとごみを出してはいけないことになっている。
湯澤委員 (意見)	・ 自治会は、法的に位置付けられたものではなく、加入するしないは自由だが、現状は市の業務をやっている面がある。自主組織だが、入ってもらえるよう努力している。市にも力を貸してもらいたい。
森部長 (回答)	・ 一般廃棄物は、市に収集・処理の義務がある。自治会に入らないからといって、収集しないというわけにはいかない。
篠崎委員 (意見)	・ 私の自治会では、必ず加入させている。マンションなどは、建てるときに集積所を作らせているはず。

発言要旨【議題（２）ウ関係】	
篠崎委員 （意見）	・ 他市との比較は，中核市と比較すべき。合併対象町の料金を資料として示してほしい。
福田次長 （回答）	・ 近隣は参考である。合併もあるので，課題をあげて検討中。
篠崎委員 （意見）	・ 改定の時期だからという話しではない。根本的なことを考えて，それでやっていけなければ改定ということではないのか。
森部長 （意見）	・ 基本的には値上げはしない。今回は，現状を理解していただくために資料を出しているのので，私共の基本的な考えを次回に示していきたい。